



子ども食堂から 食の物流ネットワークを動かす 8/19(土) 13:00~15:30

参加
無料

会場

かでの2.7

(札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル)

対象

子ども食堂・食料支援に興味がある企業・団体・個人
食材・食品を取り扱う企業・団体(生産を含む)
物流・倉庫業をおこなっている企業・団体

食糧需給率200%の北海道が物流ネットワークを動かす!!

(13:00~13:30)

「子どもを取り巻く課題、子ども食堂の実態について」

近藤 博子 ども食堂「気まぐれ八百屋だんだん」主宰



島根県出身。店名でもある「だんだん」とは出身地出雲地方の方言で「ありがとう」を意味する。長年歯科衛生士として働いてきて、長年携わってきた仕事の中で強く感じたこと、人が生活する上で最も重要なことは食であると感じ、自ら安心できる食材を提供したいとの思いから、無農薬野菜と自然食品のお店を営む。
「子供が一人で安心して来られる、無料または低額の食堂」として、日本で最初に「子ども食堂」始めた先駆者。

(13:30~14:00)

「食の物流をどう創るか」

佐々木 ひとみ 行政書士佐々木ひとみ事務所 代表



札幌市出身。(一社)北海道トラック協会札幌地区トラック協会顧問行政書士。運送会社の設立を中心とした運送関連の業務に精通した行政書士業務を行う。運送事業のコンサルタントの必要性を強く感じ、全国にて様々なセミナー講師の依頼を受け講演を行っている。

(14:00~14:30)

「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」と北海道の課題・展望について

平野 覚治 全国食支援活動協力会 専務理事



全国の食を通じた居場所支援として「ミールズ・オン・ホイールズ・ロジシステム」を推進。
全国のネットワーク団体と連携し企業からの寄贈物資を全国へ届ける仕組みを構築。

(14:45~15:30)

HOKKAIDO 100PEOPLE'S ACTION

池田 誠

北海道国際交流センター 事務局長



北海道で食の物流ネットワーク動かす人々を紹介

留学生のホームステイや日本語教育をHIFで実施。2010年から若者支援、2016年からは子ども食堂を運営。2020年から全国食支援活動協力会と共に食支援事業を行い、国内の社会課題解決のために活動している。



<お問い合わせ・事務局>

(一財)北海道国際交流センター
〒040-0054 函館市元町14-1
0138-22-0770 event@hif.or.jp

<お申込みフォーム>



<https://forms.gle/zKjD5B6kep76KwSz6>